

# まほろば



2013.8  
第144号

## —高校生一日看護体験—



7月30日、今年も高校生一日看護体験が行われ、18名の高校生が参加しました。

参加者の中には病院に入る事も初めての方もおり、最初は少し緊張した表情でした。

看護体験の前に、病院の中で働く多くの職種の方が、患者さんにどのように関わっているかを知ってもらうために、薬剤科・栄養管理室、臨床検査科、理学療法室も見学させていただきました。

その後、実際に病棟に入っの看護体験では、「すべてが新鮮で初めての経験だったので楽しかった」「足浴をして患者さんからの感謝の言葉が嬉しかった」「患者さんの気持ちになって看護することが大切だと感じた」など、短い時間の中で看護する喜びと醍醐味を共感することが出来ていたようです。日頃、看護部が目指している患者さんへの気遣いと配慮を知り、看護師を目指す気持ちが一層強くなったと意欲的な参加者もあり、将来はきっと看護師を目指してくれる事を期待したいと感じました。

私も、看護を志した何十年前の初心に戻り、リフレッシュ出来ました。今後も、やりがいと充実感を持って、看護する喜びを後輩に伝えて行きたいと思います。

母子医療センター  
副看護師長：芳賀 奈穂子



# 勇壮華麗・絢爛豪華 —弘前ねぶたまつり—

津軽の夏を彩る艶やかな火扇…今年も8月1日(木)～8月7日(水)の7日間、「弘前ねぶたまつり」が開催されました。

運行期間中は概ね好天、”午後雷土砂降り！運行やいかに？”といった日もありましたが、運行時間に間に合わせるように雨もあがりました。小雨のぱらついた5日の駅前コースの合同運行では、期間中最多の64台のねぶたが真夏の夜を絢爛豪華に染め上げました。

最終日「なぬか日」夜には、岩木川河川敷を会場に、3年目となる「なぬかびおくり」がまつり

の最後を飾りました。「ねぶたまつり」の起源は、昔、農作業が忙しい夏期に襲ってくる眠気を追い払うため、睡魔を船や燈籠などにのせ、川に流した「ねむり流し」だという説があります。

「なぬかびおくり」でも、それに習い、道路を川に見立て、岩木川上流側からねぶたを流すイメージでねぶた18台が運行され、炎で災いや邪気を祓い清めようという願いを込めて、ねぶた5台が燃やされました。通常のねぶた運行では見ることのできない、感動的な光景でした。

地域医療連携係：工藤 真淑



# 第6回北東北国立病院医療研究発表会

第6回北東北国立病院医療研究会が7月27日（土曜日）、当院附属看護学校と地域医療センターで開催されました。

講演2題、ポスター口演11題、ポスターのみ60題で計73題の発表でした。

突然の雷雨のため一時停電するなかでの発表でしたが、各病院の独自の取り組み・研究活動が発表され、質疑応答・意見交換も活発に行われまし

た。医療行為の全てにおいて妥当性と客観性が担保されなければならないわけですから、今後も自ら従事する活動の内容について、目的を再確認し、デザインを再考し、より高い評価が得られるよう継続し、患者様に還元されるような成果を発表していただければと思っております。会場の設営、プログラムの準備に当たられた学生さんとスタッフの方々ご苦労様でした。

臨床研究部長：石黒 陽



## ～東北放射線技師総会～



平成25年7月6日(土)に当弘前病院大会議室に於いて、第6回国立病院療養所東北放射線技師会学術研修会が行われました。例年は、仙台医療センターで開催されていましたが、今回初めて弘前病院で開催されました。昨年、

報告などが行われました。この内の会員研究発表では、当院放射線科の境技師が、「Heart Function Viewの使用経験」と題して発表を行いました。当院で行われているRIの心筋シンチでの解析の有用性についての発表で、盛んな拍手を頂戴しました。以上、無事に学術研修会を終えることが出来ましたが、はじめは皆経験がなく、不安を感じながらの準備でした。しかし、開催間近には一致団結して事を進めることができ、弘前病院で盛大な学術研修会を行うことが出来ました。ひとえに、スタッフ一同の結束と行動力の賜と感謝しています。

杉田技師長が国立病院療養所東北放射線技師会の会長に就任し、ぜひ一度は弘前の地で学術研修会を開きたいという強い意向から現実に至りました。初めての開催に当たり、数ヶ月前から準備を始め、杉田技師長を筆頭に副技師長、主任を含め全員一丸となって開催の準備を進めました。会場の設営や会場への案内、プログラムの進行準備など皆初めてでしたが、東北管内43名の会員を迎え、無事開催することが出来ました。内容は、特別講演と会員研究発表、医療安全セミナーの参加



副診療放射線技師長：佐藤 正信

## 第85回市民講座 「脳卒中患者に対する運動療法の基本」

今回の市民講座では、「脳卒中のリハビリテーションの基本」について講演していただきました。脳卒中による半身麻痺といえども重症で寝たきりになっても仕方がないと思われがちですが、残った半身(健側)は麻痺していないのだから、

この健側を使って座ったり立ったりすることができるのです。中枢神経は一度損傷されると元に戻らないということを考えると、脳卒中のリハビリにとって重要なことは、損傷された半身を治すのではなく損傷されていない健側の機能を落とさないことです。食事のときには食事をする場所へ移動し、排泄のときにはトイレに移動するというのが人間らしい生活として最低限必要なことですが、寝たきりになれば食事も排泄もベッドの上になってしまい、これでは人間の尊厳は保たれません。今回の講演は盛りだくさんの内容で少し話が難しかったかもしれませんが、脳卒中患者さんのリハビリに対する熱い気持ちが十分に伝わった講演でした。



講師：星城大学リハビリテーション学部 長 江西 一成 先生

整形外科部長：秋元 博之

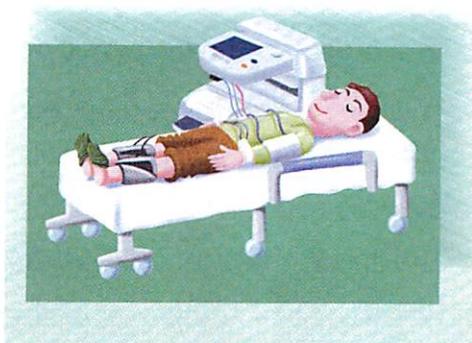
# あなたの血管は大丈夫ですか？

「最近、歩くと足が痛むのは年のせいだろう。」「手足がしびれるのは冷え性だからかしら…」など普段の生活の中のちょっとした体のサインに気づいていますか？思い当たる方には動脈硬化の検査がお勧めです。動脈硬化とは血管の壁が厚くなって弾力性が失われ、血管が硬くなったり狭くなることをいい、放っておくと脳梗塞や脳出血、心筋梗塞、閉塞性動脈硬化症などを引き起こします。喫煙や高脂血症、高血圧、糖尿病、メタボリックシンドローム、手足の冷感・しびれ感等どれか一つでも当てはまる方は動脈硬化が進んでいるかもしれません。

当院では動脈硬化の評価を行う検査としてPWV/ABI(Pulse Wave Velocity脈波伝播速度 / Ankle-Brachial Index足関節-上腕血圧比)検査があります。両腕、両足首の4カ所の血圧を同時に測るだけで、簡単に血管の硬さや詰まり具合を調べる

ことができます。検査にかかる時間は20分くらいで痛みもありません。検査を受けて、その日のうちに結果を知ることができます。気軽に医師にご相談ください。

生活習慣に気を付けていても動脈硬化は知らず知らずのうちに進行します。気になる方は血管の状態をチェックしてみてもいいいかがですか？



臨床検査技師：阿保 美郷

## 学校祭～知ろう、伝えよう、看護の魅力～

平成25年7月19日(金)と20日(土)の2日間、弘前病院附属看護学校にて「知ろう、伝えよう、看護の魅力」をテーマに、3回目となる学校祭が行われました。

内容は模擬店、看護技術体験(手洗い、足浴、沐浴、注射、AED、とろみ食の試食)の他に、昨年度と同様に各学年によるステージ発表、ビンゴ大会、ミス&ミスターコンテスト、弘前大学アカペラサークル発表、そして今年度新たにイントロクイズとカラオケ大会を企画しました。本校の学生や教員だけでなく、来校者の方々にも楽しんでいただけている様子を見て、大変嬉しく思いました。

学校祭を終えて、学年や学校全体の団結力を高めることが出来たと実感しています。また、看護技術体験や各学年の展示物を通して、看護学生の学習内容や学校生活の様子を来校者の方々にも少しでも興味を持っていただけたと思います。来年度は、今年度の反省点をもとに改善に努め、たくさんの方々にも楽しんでいただけるような学校祭を企画、運営したいと考えています。

独立行政法人国立病院機構  
弘前病院附属看護学校  
学校祭実行委員長 60回生：秋庭 美咲



# レジナビフェア2013 in 東京

7月14日東京ビッグサイトで開催されたレジナビフェア東京に佐藤小児科医師、石岡研修医、岡本研修医、加藤管理課長とともに参加してきました。

北海道・東北地区国立病院機構のブースに仙台医療センター、北海道がんセンター、函館病院、旭川医療センター、北海道医療センターと弘前病院6病院が集まりました。例年より参加学生の総数は少ないようでしたが、当院のブースには全国から4年生と5年生合計11名の学生が話を聞きに来てくれました。

一般学生の北海道・東北地区への興味は少なくどの病院も苦戦していましたが、参加者全員で当院と弘前市の良いところをアピールしてきました。

当院の初期臨床研修医は各学年2名と少数ですが、自由度が高く研修医の個性に合わせた臨床研修が可能です。これからも一人でも多くの臨床研修医の先生方と一緒に学べるよう、県内外に向け弘前病院の臨床研修情報を発信していきたいと思えます。

初期臨床研修委員：黒田 令子



# 第5回 母乳育児 フォーラム



10月6日 (日)  
午後2:00～午後3:30

テーマ: 母乳育児の良さって何だろう?

場 所: 国立弘前病院 地域医療研修センター1階

## プログラム

1. 母乳育児の赤ちゃん和妈妈のメリット  
(当院小児科医より)
2. 当院で実際に出産されたママと赤ちゃんのVTR
3. 「母乳育児と歯の話 ～むし歯にしないために  
いい咬み合わせを創るために～」  
青葉 達夫 先生 小児歯科医・医学博士・IBCLC  
青葉子どもと親の歯科医院 院長
4. Q&Aコーナー  
気になることなどお気軽にお尋ねください。



【参加費：無料】

● 授乳スペース 有

● 託児コーナー 有

● バギーでママと赤ちゃんが、一緒に聞けます。



※ 託児希望の方は事前にご連絡し、お子様の年齢をお知らせください。

連絡先: Tel 3 2 - 4 3 1 5 母子医療センター

主催: 独立行政法人国立病院機構弘前病院BFH委員会

# 外来診療一覽

◆外来医師診療一覽表 (2013年8月1日現在)

診療科	区分	月	火	水	木	金
循環器内科		熊本 秀 樹	熊本 秀 樹	熊本 秀 樹	熊本 秀 樹	熊本 秀 樹
呼吸器科		中川 英之	山本 勝丸	中川 英之	山本 勝丸	中川 英之
		下山 亜矢子	下山 亜矢子	下山 亜矢子	下山 亜矢子	下山 亜矢子
消化器・血液内科		間山 恒	—	五十嵐 崇徳	間山 恒	間山 恒
		高杉 かおり	五十嵐 崇徳	高杉 かおり	高杉 かおり/五十嵐 崇徳	五十嵐 崇徳
		佐藤 年信	高杉 かおり	佐藤 年信	(隔週で交代)	佐藤 年信
		石黒 陽	石黒 陽	—	石黒 陽	石黒 陽
小児科		杉本 和彦	佐藤 工	杉本 和彦	佐藤 工	杉本 和彦
		三上 珠希	千葉 奈歩	三上 珠希	千葉 奈歩	久保 かほり
		千葉 奈歩	久保 かほり	久保 かほり	久保 かほり	千葉 奈歩
外科		田澤 俊幸	三上 勝也	田澤 俊幸	神 寛之	三上 勝也
乳腺外来		小田桐 弘毅	小田桐 弘毅	小田桐 弘毅	櫻庭 弘康	小田桐 弘毅
整形外科	午前	柿崎 寛	柿崎 寛	秋元 博之	秋元 博之	柿崎 寛
	午後	黒瀬 理恵	黒瀬 理恵	黒瀬 理恵	飯尾 浩平	秋元 博之
脳神経外科	午前	—	—	木村 正英	—	—
	午後	—	—	—	—	柿崎 寛
皮膚科	午前	熊野 高行	佐藤 正憲	佐藤 正憲	熊野 高行	熊野 高行
	午後	佐藤 正憲	熊野 高行	熊野 高行	佐藤 正憲	佐藤 正憲
泌尿器科	午前	● 予約	● 手術/検査	● 予約	● 手術/検査	● 予約
	午後	神村 典孝	神村 典孝	神村 典孝	神村 典孝	神村 典孝
産婦人科	午前	検査	検査	手術	検査	手術
	午後	木村 秀崇	尾崎 浩士	丹藤 伴江	● 妊婦健診 (一般外来休診)	尾崎 浩士
眼科		千葉 仁美	丹藤 伴江	木村 秀崇	—	千葉 仁美
耳鼻咽喉科		蒔苗 順義	蒔苗 順義	蒔苗 順義	蒔苗 順義	蒔苗 順義
放射線科	診断	黒田 令子	黒田 令子	● 手術 (一般外来休診)	黒田 令子	黒田 令子
	治療	—	—	—	—	—
女性専用外来		佐々木 幸雄	佐々木 幸雄	佐々木 幸雄	佐々木 幸雄	佐々木 幸雄
セカンドオピニオン		—	—	川口 英夫 (午後)	—	川口 英夫 (午後)
セカンドオピニオン		—	—	—	今 充	—

※ 学会、出張などにより担当医師が替わる場合があります。

## 今月の川柳

★川柳募集★ あなたの川柳をお待ちしています。

広報誌編集委員会において投稿されました川柳の選出を行いました。今月は掲載までは  
いたりませんでした。来月号に期待をしております。

### 患者相談窓口

『患者相談室』のMSW(メディカルソーシャルワーカー)が対応していますので、お気軽にお尋ね下さい。

### お知らせ

#### 編集委員会より

当院の広報誌『まほろば』は、地域に信頼され、納得の医療で地域に貢献しつつ、地域と協働して歩む病院づくりを目指し、地域の方々を対象に編集しております。皆さまから病院に対して『不安なことや不満足なこと』『ご批判やご指摘また、お褒めのことば』を職員一同お待ちしております。

発行元



Hirosaki National Hospital  
独立行政法人国立病院機構

弘前病院

責任者：副院長 柿崎 寛

〒036-8545 弘前市大字富野町1番地

TEL 0172-32-4311

FAX 0172-33-8614

URL <http://www.hosp.go.jp/~hirosaki/>